

第1回 福祉医療費助成制度に関する研究会 議事要旨

1. 日 時 平成22年11月4日（月）10:00～11:25

2. 場 所 大阪府庁別館6階 市町村会館第3号会議室

3. 研究会メンバー ○大阪府市長会を代表する者
枚方市 健康部長
藤井寺市 健康福祉部長（担当次長が代理出席）
東大阪市 市民生活部長
大阪市 生活福祉部長
茨木市 健康福祉部理事
羽曳野市 保険健康室長（担当課長が代理出席）
和泉市 生きがい健康部長
○大阪府町村長会を代表する者
河南町 健康福祉部長
能勢町 民生部長（担当課長が代理出席）
忠岡町 健康福祉部長
○大阪府
福祉部国民健康保険課長

4. 議事概要

議事に入る前に、大阪府を代表して大阪府福祉部副理事よりあいさつがあった。

(1) 設置要綱の一部改正について

事務局から、資料1に沿って、「福祉医療費助成制度に関する研究会設置要綱（一部改正案）」について説明し、設置要綱（一部改正案）を原案どおり決定した。

(2) 座長の選出について

出席者の互選により、枚方市健康部長を座長に選任した。

(3) 研究会の進め方について

事務局から、資料2に沿って、「検討の進め方について（案）」について説明し、進め方を原案どおり決定した。

(4) 検討事項について

事務局から、資料3及び資料4に沿って、「制度を取り巻く課題等について」及び「検討事項について（案）」について説明、その後、意見交換を行った。

(5) 今後の検討スケジュールについて

事務局から、資料5に沿って、「抜本の見直しに向けた検討スケジュール（案）」について説明し、スケジュールの確認を行った。

(6) 上記(3)から(5)にかかる委員からの発言

- 福祉医療費助成制度は住民の皆さんに身近な制度のため、住民の皆さんに理解いただける議論をしていくことが重要。
- 財源の問題もあることから、具体的、現実的かつ実行可能な報告書としていく必要もある。
- 国の保険制度の検討状況によっては、本検討にも影響することを考慮しておくべきでないか。
- 乳幼児医療にかかる大阪府の補助対象年齢については、全国平均と比べて低いことから引き上げるべきでないか。

- 子育て支援に関する事業が増加するなかで、大阪府内各市町村の乳幼児医療の状況は、上は中学校卒業までとばらつきがあり、格差をなくすための議論をしていかなければならない。
- 乳幼児医療については、「福祉」と「子育て支援」の観点を混同しているような制度となっているのではないか。
- 首長や議会の発言等からは、乳幼児医療は「福祉」の観点よりも「子育て支援」に重点を置いた位置付けで議論されており、現状では子育て支援施策のうちの1つと考えていいのではないか。
- 乳幼児医療については、「福祉」と「子育て支援」の観点を理念的に整理する必要があるのではないか。
- 高齢者や障がい者の方々にかかる保険制度や公費負担制度等の枠組みをしっかりと見極めて福祉医療費助成制度の議論をしていかなければならない。

以 上